

ALMA News Letter

2018 冬 第 4 号

アルマ活動報告書

(2017年2月～2018年1月)

高齢化社会とペットの問題 ～サポート体制が急務



飼い主死亡により放棄されたキャバリア 11 歳

近年、相談が増えている事案は、犬猫の飼い主死亡、或いは病気で入院したということでのペットの引取り相談です。動物愛護センターでの飼い主放棄理由でも、高齢者のペット放棄は大きな割合を占めています。70～80 歳代の方でも、ペットショップに行けば犬猫を買うことができます。愛くるしいペットと暮らしたい、可愛がりたい。犬猫との共生は、生活に生きがいと潤いをもたらし、精神的にも良い効果があると言われていますが、ある日突然、病に倒れる、認知症になるなど、生活環境が一変する事態もあります。入院中にペットを預かる、飼い続けられない時には新しい飼い主を探すなど、サポート体制は急務です。

平成28年度、犬猫の**殺**処分数は、環境省の統計では、犬猫併せて約6万頭まで減少しました。全国の都市部と地方では収容数/処分数などに格差がありますが、殺処分の現状を知ることによって問題点も見えてきます。

都市部では小型犬の遺棄・放棄が多く、地方では未だ野犬が多い地域もあり、中型雑種犬、雑種の子犬など多く収容されています。また産まれて間もない生後3週間未満の子猫などが、処分対象となっています。

殺処分ゼロを目指すには、良識ある飼い主、すなわち社会のルールを守り、一度引き受けた命に最後まで責任を持つという「良い飼い主」を増やすことが大切です。

しかし、それだけでは解決できない問題も出てきました。



飼い主が夜逃げして取り残された犬たち
パピヨン♂オウガ、ポメチワ♀コロソ

高齢化社会とペットの問題は、偶発的ではない殺処分を増やすベースになりかねません。

飼い続けられなくなった時のことを考えて、犬猫を飼うことの意識が大切です。お金だけでは解決できない問題も出てきます。

高齢化社会に並行して、放棄される犬猫の高齢化/病気も、私たち引き受ける側の受け皿を切迫します。

行き場を失う犬猫の受け皿をどう作っていくのか。これから活動を継続する上での課題です。

ティアハイムの運営は、2017年12月で丸5年を迎えました。

NPO法人アルマとの協働で一時飼養場所を提供しながらの譲渡活動、広くボランティアの受入と並行した啓発活動。

小さな保護シェルターは、この5年間で、ボランティア&オープンシェルター里親会来訪者が延べ2万人近く訪れた場所になりました。

しかし、啓発活動の場所としての機能よりも、保護シェルターとしての機能を優先せざるをえない現実、きめ細やかな受入体制が難しくなっています。

日常的に対応／作業する有給スタッフ不足の問題。

かかる経費の問題だけではなく、ある程度の知識と経験のある人材が必要です。

このままの運営体制を続けるのか、そうすると単なる保護シェルターとして全体が疲弊していくのではないのか。

ただ維持を目的にした運営のマンネリズムに、危機感を持ち始めています。

6年目のアルマ東京ティアハイムの運営は、全てにおいて一から見直しの時期にきているのかもしれない。

さらにこの先、10年目にどのような機能を持ち、そして社会に貢献できる活動を持続しているのか。

地域サポートの要となるようなネットワーク作りを、このアルマ東京ティアハイムから発信していくことも考えています。

アルマ東京ティアハイムの運営継続は、これから5年間の活動の在り方にかかっていると気持ちを引き締めています。



ティアハイムのデッキで遊ぶ子犬たち（茨城センター引取犬）



高齢者がお世話していたキジトラ姉妹 7～8歳
飼い主の入院で放棄になり、アルマで引取保護しました。

高齢化社会とペットの問題を解決するために、**譲**渡の幅を広げることも考えています。

単身者や高齢者家族への譲渡は、後見人（保証人）をつけるという方向で行う場合もありますが、基本はアルマの譲渡条件を設けており、ある程度の年齢制限もあり、譲渡が叶わないご家庭もあります。

しかし、高齢者といえども、まだまだ十分に健康で、時間にも経済的にも余裕があり、犬猫を飼える方も多いのも事実です。

終生飼育サポート。もし飼えなくなる事態があれば、譲渡した犬猫をアルマが引取り、新たな飼い主を探して再譲渡するか、高齢／病気であれば終生飼育をするか。そういった受け皿を作ることで、ペットショップから子犬・子猫を買わずとも、安心して新しいパートナーが得られる。

将来に備えての費用は、何か枠組みを作らないといけないと思いますが、私たちが譲渡の幅が広がることによって、助けられる命もまた1頭でも増えることを期待しています。



在り日のシーズー♀もも

いつもアルマの活動を支えて、応援していただき、本当にありがとうございます。

里親様、ご支援者様、ボランティアスタッフ、1人1人のお力がアルマの活動の源です。

感謝の気持ちを忘れずに今年も精一杯、努力して参ります。

平成30年1月吉日

NPO法人アルマ 理事長／一般社団法人アルマ 代表理事
竹本由実子

アルマの社会貢献事業

1) 関東圏の動物愛護センターから犬猫の引取／新飼い主への譲渡

※放棄犬猫の引取協力を含む

- ▶ 2017年 引取数 犬238頭 猫129頭 合計367頭
- ▶ 2017年 譲渡数 犬245頭 猫126頭 合計371頭
- ◆虹の橋 犬10頭 子猫3頭

2) アルマ東京ティアハイムを拠点とした啓発活動および譲渡事業

▶ ボランティアの積極的な受入

新規ボランティア受付数 2017年 220名

2017年の1年間で、延べ2,894名のボランティア参加受入

▶ 2017年 社会貢献事業への参画

企業ボランティアの受入（2社）

Google、NBCユニバーサル・エンターテイメント

親子参加のボランティア体験の受入（小学生/中学生）

高校生ボランティアグループ RFA 等、学生団体との協働ボランティア活動

大学生／高校生等の課題学習としてのボランティア活動の受入

▶ ティアハイムオープンシェルター里親会の開催

2017年実績 計56回 来場者2,218名

開設以来、5年間で、計257回開催、来場者 7,187名

※基本、毎週日曜日、月4～5回開催



茨城県動物指導センター 犬舎
愛護団体等からの引取りがなければ処分される命



ティアハイムボランティアさんと河川敷までお散歩



浅草エリールにて、犬里親会の開催
トイプードル♀スフレ

3) 一時預かり家庭の犬を中心とした里親会の開催

1月、8月を除いて毎月開催

会場：浅草エリール、永福ベルシアン、アニファ西葛西、他

4) 犬猫に関する相談受付・対応（メール、電話等）

年間 約120件 ※保護、放棄、迷子犬等

※緊急一時保護レスキュー犬猫 55頭



ポメラニアン♂モク

5) 犬のふれあい・啓発活動への参加

- 10月28日 世田谷区
生活介護施設「奥沢福祉園祭」
- 11月12日 越谷市
動物愛護フェスティバル



越谷市愛護センターとの協働での愛護啓発事業

活動資金のための収益事業



1) フリーマーケットの開催 (2017年 計11回)
会場：駒沢公園、市川駅前、しらこぼと水上公園 等

2) チャリティ商品の販売
壁掛け&卓上カレンダー
クリアファイル、メモ帳、
ボールペン、ポストカード



3) 犬猫グッズショップ「A-shop」の運営 (インターネット販売)

<http://a-shop.shop-pro.jp/>

ケア用品 (ゼオライトシリーズ)、犬猫生活用品、等



4) ペット保険・アニコム損保代理店 2017/5~12月

契約数実績 17件 ありがとうございます。

ティアハイム運営費・修繕費等に大切にに使わせていただきます。



私たちはアルマの活動を応援しています

アルマの活動に協賛してくださっている企業、個人の皆様



決算報告 概要

一般社団法人アルマ／NPO 法人アルマの決算報告の概要です。それぞれ別法人で会期が異なります。

「最後の砦」として活動するアルマでは、高齢や病気の犬猫も多く、かかる医療費が甚大です。

医療費/保護費は、NPO 法人アルマにて、平成 28 年 9 月～平成 29 年 8 月で約 1260 万円となっています。

ティアハイムの運営経費は、人件費に関わる経費が大きく、給料・法定福利費は、年間 約 930 万円です。

一般社団法人アルマ（アルマ東京ティアハイム）においては、赤字運営の改善のため、カード決済利用の継続寄付の仕組みの導入、また一般からの有料引取を犬猫併せて 20 頭受け入れて、寄付金収入が前年度より約 300 万円増えています。

一般社団法人アルマ（アルマ東京ティアハイム） 決算報告（第五期）

▶平成 28 年度（会期 平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）

単位：円

収入		支出		主な支出内容
公益事業 （寄付金 /賛助会員）	10,000,047	管理費 （公益／収益）	917,514	保護費等
			8,746,972	給料手当（社員 1 名・アルバイト 7 名）
			522,943	法定福利費
収益事業 （物販/管理費）	5,848,314		560,975	旅費交通費
			540,668	水道光熱費
			2,721,369	その他、管理費
		物販事業費	261,528	カレンダー製作等
収入合計	15,848,361	支出合計	14,271,969	
当期経常増減額			1,576,392	
前年度繰越金	5,757,295			
繰越合計	7,648,050			

※繰越金には決算時の未収金／未払金を加えた現預金残高を記載しております。

※減価償却費・繰延資産償却費は、支出に含めておりません。

※その他管理費・・・ゴミ処理代、事務用品費、通信費、荷造運賃、広告宣伝費、支払手数料、保険料、税金他

※平成 29 年 8 月 30 日 第 5 期決算報告を作成し、税務署に申告済です。

NPO 法人アルマ 決算報告（第三期）

▶平成 28 年度（会期 平成 28 年 9 月 1 日～平成 29 年 8 月 31 日）

単位：円

収入		支出		主な支出内容
公益事業 （寄付金／譲渡費 用／賛助会員）	18,789,521	公益事業	12,605,964	医療費・保護費等
		管理費	3,120,000	事務局運営費・犬猫管理費・ 旅費交通費等
収入合計	18,789,521	支出合計	15,725,964	
前年度繰越金	4,613,389			
繰越合計	7,676,946			

※詳細はアルマ HP にて順次ご報告しております。アルマ HP <http://alma.or.jp/>

※平成 29 年 11 月 29 日 東京都知事宛、事業報告書等を提出済みです。

緊急レスキュー トピック

2017年もセンター収容犬の引取りの他に、様々な多頭飼育崩壊現場への関わりがありました。

近年、個人宅での多頭飼育の問題は後を絶ちません。

個人宅で多頭飼育崩壊する背景には、一人暮らし、高齢者など、社会とあまり関わりを持たない人が引き起こす場合が多くあります。行政の手が入っても、状況の改善や飼育放棄をすることに時間がかかり、末期状態になってからやっと劣悪な環境下から犬猫が救出されるというケースがほとんどです。全国各地に今も崩壊予備軍が潜んでいます。

2017年にアルマが関わった多頭飼育崩壊／保護相談案件をトピックでご紹介します。

◆2017年7月 中型MIX犬多頭飼育崩壊85頭（江戸川区・個人宅）

2017年7月、多頭飼育の一般家庭のご親族からの相談でした。

自家繁殖でビーグル系MIXをはじめとする中型雑種犬が、成犬・子犬併せて85頭も民家にいました。

経済的にも困窮しており、環境は劣悪。堆積した糞尿の山、室内は人間が住めないほど荒れていました。

CACI様、成犬譲渡の会様、GO保護犬GO様はじめ、多くのボランティア団体様のご協力を賜り、現場から東京都動物愛護相談センターに一時保管の15頭を含め、70頭のレスキュー。

また、ちばわん様のご協力のもと、現地に於て、28頭の一斉不妊手術を行いました。

現在、飼い主宅は不妊手術済の犬15頭になりました。

引き続き、経過をみていきます。



多頭飼育崩壊現場

◆2017年5月～ 江戸川河川敷猫たちの不妊手術と保護協力（葛飾区）

生活保護受給者の高齢者の方から、長く世話をしている河川敷の野良猫たちの保護について相談がありました。不妊手術はされておらず、違法に建てた小屋を中心に成猫14頭と、子猫10頭以上を確認。

子猫は全て引取保護をして、成猫は2ヶ月かけて全頭の不妊手術を行いました。

その後、成猫14頭のうち、8頭を引取保護、現地の1頭は死亡、残り5頭となっています。



河川敷の野良猫たち

動物愛護法

現実にはネグレクト飼育に関して動物愛護法が適用されることは、ほとんどない。

社会に露見した際には既に手遅れの状況で、処罰よりも緊急レスキューが優先される。

愛護動物を虐待したり捨てる（遺棄する）ことは犯罪です。違反すると、懲役や罰金に処せられます。

愛護動物をみだりに殺したり傷つけた者→2年以下の懲役または200万円以下の罰金

愛護動物に対し、みだりにえさや水を与えずに衰弱させるなど虐待を行った者→100万円以下の罰金

愛護動物を遺棄した者→100万円以下の罰金

アルマの歩み

▶平成24年7月

10年間の活動母体・任意団体から法人化 一般社団法人アルマ 設立
非営利法人・アルマ (ALMA : Animal Life Matters Association)

▶平成24年12月

東京都葛飾区に動物保護シェルターと啓発活動の拠点として「アルマ東京ティアハイム」を開設

▶平成25年5月

横浜市動物愛護センター／茨城県動物指導センターに登録追加

※法人化以前の既存の登録センター

東京都動物愛護相談センター、千葉県動物愛護センター、埼玉県動物指導センター

さいたま市動物愛護ふれあいセンター、柏市保健所

▶平成27年2月

特定非営利活動法人 (NPO 法人) アルマ 設立

アルマ東京ティアハイム (一般社団法人アルマ) との協働で活動に取り組む

▶平成27年5月 越谷市保健所 (越谷市動物愛護センター) に登録追加



ALMA NOTICE BOARD

アルマ事務局 〒124-0021 東京都葛飾区細田 5-11-12

電話/FAX 03-5876-7667 メール: alma_office@muse.ocn.ne.jp

アルマの活動内容

- ・センター収容犬猫たちの引取りと新しい飼い主探し 「最後の砦」として高齢・病気の犬猫の積極的な受入
- ・啓発活動と一時飼養を兼ねた動物保護シェルター「アルマ東京ティアハイム」の運営
- ・社会貢献活動として広くボランティアの受入 ・犬猫の飼い主の方への様々な呼びかけと啓発活動
- ・一般から犬猫に関する相談の受付/対応、等

これらの活動のための費用、および必要な医療費は、アルマ賛助会員の皆様の会費、一般の方からのご寄付、里親様医療費一部負担金等によって支えられています。不幸な動物たちをなくすために、おひとりでも多くの方に賛助いただき、私たちの活動をご理解、ご支援くださいますよう心からお願い申し上げます。

ご寄付の送金先



● 保護犬猫への医療費・保護費へのご支援

- ・三菱東京 UFJ 銀行 金町支店 (普)0226368 特定非営利活動法人アルマ (トクビ) アルマ
- ・ゆうちょ銀行 10000-1466031 (トクビ) アルマ



アルマ東京ティアハイム
Alma Tokyo Tierheim

● アルマ東京ティアハイム (一般社団法人アルマ) の運営費/啓発活動事業へのご支援

- ・三菱東京 UFJ 銀行 金町支店 (普通) 0139595 一般社団法人アルマ
- ・ゆうちょ銀行 10180-53042571 (シャ) アルマ

アルマで必要とするもの ※アルマ事務局宛、直接ご送付ください。日時指定はございません。

(犬用) ドライフード (小型犬・中型犬用)、缶詰 (成犬用)、ペットシート、フロントライン、マイフリーガード、駆虫薬

(猫用) ドライフード、缶詰 (子猫用、成猫用、老猫用)、猫用オヤツ (ちゅーる等)、駆虫薬、レボリューション、フロントライン

(一般) 消毒薬 (バイオチャレンジ等)、トイレトーパー、キッチンペーパー、洗濯用洗剤、柔軟剤、ゴミ袋 (45ℓ)、布製ガムテープ、ハンドソープ詰替え、ウンチ袋、犬用シャンプー (低刺激)、※古毛布、古タオルは収納場所が限られていますので在庫をご確認の上、お送りください
切手(1円～)、ハガキ(書き損じ可)、金券等も助かります。事務局宛、お送りください。〒124-0021 葛飾区細田 5-11-12 アルマ事務局

アルマ賛助会員 募集のご案内

いつもアルマの活動を応援いただき、ありがとうございます。

NPO 法人アルマ／一般社団法人アルマでは、私達の活動を今後も継続するため、また新たな活動を広げていくために、賛助会員になっていただける方を広く募集しております。

いただいた会費は、センター収容の犬猫のための医療費・保護費、またアルマ東京ティアハイム（動物保護シェルター）の運営や啓発活動のために、大切に使用させていただきます。皆様のご協力によって私達の活動は支えられています。

犬猫の命を繋ぐ活動のみならず、地域社会に貢献できる事業として、今後も努力してまいります。不幸に処分される犬猫たちが1頭でも減り、動物に優しい社会になりますよう、アルマの活動への末永い応援をどうぞよろしくお願い致します。



■2019年 賛助会員募集 随時

■会員

個人賛助会員 一口 3,000円（何口でも）

法人賛助会員 一口 50,000円（何口でも）

■会員特典 年に1～2回の会報発行／オリジナルチャリティグッズ等の進呈
その他、イベントご案内等

■ご送金方法（以下の3通り）

1) 同封の振込用紙にてご送金ください。

ご住所・ご氏名を確認させていただくことが容易です。ご協力いただけますと幸いです。

2) 以下のネットショップ経由で受付しております。

NPO 法人アルマ賛助会員/アルマ東京ティアハイム賛助会員の 카테고리からお申込みください。



●アルマ・ファミリーサポート基金

<http://alma-support.shop-pro.jp/>

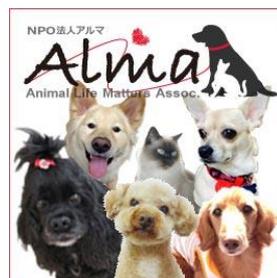
アルマ HP トップのファミリーサポート基金バナーよりお入りください。

3) 直接、振込していただくことも可能です。

ゆうちょ銀行 10180-53042571 シャ) アルマ

他金融機関からのご送金 店名〇一八（ゼロイチハチ）普通 5304257

※ご送金いただいた際は事務局宛、ご連絡をお願い致します。



■アルマ事務局

〒124-0021 東京都葛飾区細田 5-11-12

NPO 法人アルマ／一般社団法人アルマ（アルマ東京ティアハイム）

電話/FAX 03-5876-7667 メール alma_office@muse.ocn.ne.jp

アルマ HP <http://alma.or.jp/>